



鴿の声

新緑の美しい季節になりました。今まで不安定な天候が続きましたが、しばらくは五月晴れの心地よい季節を満喫したいと思っております。

近年は四季の境目がはっきりしない。少しの春と、少しの秋、冬と夏が長いのでこの反対にならないものかと思う時があります。

又、最近ほどの報道を見ても、朝鮮半島を巡るニュースばかりです。緊張が続く東アジア情勢、朝鮮半島を取り巻く各大国の思惑が交錯し、なかなか先の見通しが出来ない状況になっているのではないかと思います。一朝有事になれば、日本も無事では済まないとなると、日本政府を含め、関係各国の努力により、平和裏に解決して頂きたいと願うばかりです。

さて、本会も新年度がスタートし、新入職員も迎えて各拠点

も新たな一步を踏み出すことが出来ました。これも、ひとえに関係各位のご支援の賜物と感謝申し上げます。

今年度は、新規事業として、懸案となっていました、企業内保育も5月1日からスタートさせて頂きました。本会社員の子どもだけではなく、地域の子どもさんもお預かりすることが出来ますので、是非、保育所「いくりん」の方にご相談頂ければと思っております。もうひとつ新規の事業として、生活困窮者自立支援事業・サポートセンター「こころん」に関連して、学習支援事業も6月からスタートさせるべく、鋭意準備を進めていくところです。「こころん」の主たる事業である相談と就労支援という二本の仕事をさせて頂く中で、もともとこの制度の中にある、子ども学習支援を車の両輪の様に動かして行くことで、制度創設の趣旨が活かされ、双方相まって今まで以上に良い結果を出せるのではないかと

思っております。もちろんすぐには結果を出せる訳ではありませんが、子どもの相対的貧困率が6人に一人と言われている中で、しっかりと学習することで、進学し学力を身につける、そして生産社会の一員となってもらうことで、当該家庭が貧困の連鎖から抜け出せるだけではなく、全ての産業で人手が足りない昨今の社会状況を鑑みれば、本会として少しでも社会のお役に立てればと思えます。しかしながら、私どもだけの力だけではどうにもならないことが多々あるのではないかと思っておりますので、関係機関や地域の皆さま方のご支援とお力添えを頂きながら、手探りで進めて参りたいと考えておりますので、多くの皆様方の温かい手を差し伸べて頂けるよう切にお願い申し上げます。

(総合施設長 齊藤 操)

ときがね な ひととき

※法人内の事業所の日々の様子をお知らせします。

鴛嶺の家（高齢者・障害者）

平成28年4月に通所介護事業所から小規模多機能型居宅介護事業所に移行した鴛嶺の家も今年で2年目を迎える事が出来ました。

小規模多機能サービスを理解する事から始め、地域住民の方を交えた運営推進会議等覚える事が沢山ありました。今年も覚える事や実践したい事が沢山ですが、スタッフ一同気合いを入れて取り組みたいと思います。

さて、今回は鴛嶺の家を一步外に出たお話しです。今年で鴛

嶺の家の利用が8年目のKさん。ある日の会話で地域住民との友好関係が薄れている事、昔

の様に外で飲む事が減った事をお話してくれました。それを聞いた私たちはKさんが昔のような友好関係を作ることにはできないか？何か出来る事はないか考え、親の会主催の『ほろ酔い会』にお誘いしてみる事にしました。Kさんは、「仲間に入れて！」と笑顔で応えてくれました。『ほろ酔い会』には鴛嶺の家を利用して居るHさんも参加しており、2人共楽しそうにお酒を飲んでいました。

私たち介護者が望む生活は、安全・安心な生活をと考えがちですが、本来はもっとシンプルな『楽しい生活』が求められているのではないのでしょうか。一人ひとり性格が違うように、楽しさの感じ方も違うので、それぞれに応じた楽しさを提供する事の難しさに悩む事があります。利用者の方々に楽しんで頂けたらいいなと考えています。

鴛嶺の家（児童）

行事いっぱいのお春。皆さん体調を崩さず元気にお過ごしでしょうか。鴛嶺の春も大きな変化や行事で、バタバタ感&初めての経験満載でした。この春初めて、引越しでのお別れを経験しました。今日でお別れと知って泣いてしまった子。自ら折り紙でプレゼントを作った子。小さな子達の心の成長に気付かされた経験でした。

春休みの今回は、さくら祭りの茂原公園で1日遊びました。2カ所ある遊具・広い敷地で探検ごっこ・亀の団体甲羅干しを見物と、たくさん遊びました。バギーで過ごした子は、木々の公園を散策し、池でパンのエサを投げ、いつもと違った風景や空気を感じてもらえたかな、と思います。もう一つ、皆で電車に乗って出かけよう！という、初めての経験をしました。車内では静かな子ども達!!普段

はしよつちゅう声を発している子が、全く声を出さなかった事。よく歩き回る子が、ほぼ同じ場所です。初めて経験は不安で泣いてしまう子が、ニコニコの笑顔だった事等々。東金く大綱の短い距離とは言え、大いにビックリした大人達でした。その後のマックで、子ども達のテンションは跳ね上がりました。皆大好きマック、恐るべし…。それでも、比較のお行儀よく過ごすことが出来ました。全体としては◎をあげたいです。

入学・入園・引越し等で日々来る子ども達は少なくなりまして「今だから出来る事」「どんな時も、今出来る事」に一杯取り組んでいきたいと思います。



ぼけっと

シロツメグサやタンポポが咲き、緑鮮やかな季節となりました。

八鶴湖や茂原の桜まつり、満開の桜は圧巻でしたが、子ども達は「チョコバナナだ!」、「綿あめ!」と出店に目を輝かせていました。

先日、近くの公園へ遊びに行った時の事です。四つ葉のクローバーを誰が多く見つけられるか競っていると、自分から発言する事が少ないA君が「ねー!クローバーこんなに見つけたよ!1つあげる」とプレゼントしてくれました。とても嬉しい出来事でした。

また、ゲームやドライブをすることが好きなR君。久々に「公園行く」との事で出かける時、桜の木の前に立ち止まり強い風に揺られて飛んでいる桜の花びらや、葉っぱを見て大笑い^{ハハ}でもきれいで、しばらく一緒に

見とれてしまいました。近くには梅の木もあり、いつの間にか小さな実がなっていました。「可愛いね♪」と話しているとY君が「食べたいなあ!」と嬉しそうに、ぼそつと一言。このころ食欲旺盛な子ども達。気持ちの良い食べっふりを見てスタツフも負けてられません!K君とYちゃんと鬼ごっこをしている時、去年までは簡単に捕まえる事が出来たのですが、最近動きが素早くなり苦戦する事も多くなりました。子ども達の体力とこれからやってくる夏の暑さに負けないよう、今から体力作りに励みたいと思います。



サポートセンタースピリッツ

ネガティブではなくポジティブな表現、マイナスではプラスの表現、できないことを探すのではなくその人の持っている強み(ストレングス)を考えるよう私たちの仕事ではよく言われます。どういうことかいうと、例えば机の上に立ってしまいう子どもがいたら、「机の上には立ってはいけません。」ではなく「イスに座りましょう。」だったり、脳こうそくで麻痺が残ったり、普段できていた料理ができなくなってしまうたら、料理全体の工程を考えるのではなく、部分的なできる工程を考える。味付けはできる、皮をむいた野菜を切ることができる、フライパンに入れた野菜を炒めることができる等、本人ができる部分を考えたり、プラスの表現を使ったりするよう心がけます。最近のニュースで復興大臣が「震災が起きたのが」東北でよかつ

た。」という発言が話題になりました。私はそのニュースを聞いてとても悲しい気持ちになったのですが、その後、一般の人が「東北でよかつた。」というのをプラスの表現に変え、東北の良さをアピールする写真とともに「(住んでいるのが)東北でよかつた。」という言葉をつかいSNS上でたくさん記事をアップしたそうです。そのニュースをみて、私は感動しました。物事は捉え方一つでマイナスにもプラスにもなります。プラスの表現を使ったり、その人の持っている強みを見つけれよう私たちも仕事に向き合っていきたいと思います。



ようやく寒さを感じない季節になりました。桜の花が散り、藤やつつじなど花の便りを耳にするこの季節、新年度のスタートを切りました。新しい環境の中、体調を崩したりする時期でもありますので、体調管理にも十分注意していきたいです。1年の流れ、1日の流れとありますが、リズムが大事だと思ふことがあります。例えば、朝起きて、顔を洗って、朝ごはんを食べた後、コーヒーを飲む習慣がある人がいたとします。ある日時間がなく、その日はコーヒーが飲めなかつたとします。その後もリズムに乗れず、階段を踏み外したり、その日必要なものを忘れたり、ミスばかり。個人差はありますが、その日のリズムが少し変わるだけで、いつもと違う感じを受けるものです。野球で調子よく投げていたピッチャーのリズムが崩

れることで試合の流れが変わってしまふことやテニスの試合で断然リードしていた選手のリズムが狂い逆転負けにつながるなど、スポーツ界でもみかけますよね。リズムが崩れてしまうことは様々な原因があるので避けきれないことかもしれません。でも、気持ちを切り替える方法や仕切り直す手立てがあれば乗り切れるのではないかと思います。



草木が青々と生い茂る新緑の季節、皆様いかがお過ごしでしょうか？

桜が咲いたらあつという間に田植えの時期に、方エルやクモなどなど、色んな生き物がお庭で生き生きとしています。

ハンドワーク生活介護では、習慣になりつつある健康と体力作りのためのお散歩と、お花見も兼ねて八鶴湖や昭和の森等々にお出かけをしました。桜のシーズンを過ぎても咲く八重桜をみながらお散歩したり、朝夕の送迎車の中からもお花見ができましたりと、あちこちで春を感じた四月のはじめでした。

四月になって新しい出会いが三つ、ハンドワーク生活介護では三人の新しい利用者さんをお迎えしました。皆さんまだ

高等学校を卒業して間もない方々で、今までにはなかった新しい環境や関係に戸惑いながら

も、少しずつ慣れ始めています。そんな中でも成長がよく見られるAさん。いつも活発で明るく、お外に出かけると一目散にブランコやすべり台に向かうのですが、ハイキングコースもお散歩へ。初めてのお散歩コースにおっかなびつくりコースの終わり近くにある長い下り階段が怖いのか、しょんぼりとした表情で座り込むことも：それでも皆と一緒に散歩したいよう、職員や親しくなった利用者さんの名前を呼びながら、頑張つてハイキングコースを歩き切りました。最後は皆に拍手でお出迎えされ、ちよつと照れたような、嬉しそうな表情を見ることが出来ました。その後は、母の日のありがとうカードの詰め込み作業にチャレンジ！5月の母の日まで頑張つて取り組みます。

ハンドワーク（就労継続支援B型）

暖かい日が続き、皆で散歩に出かける機会が増えてきました。道に咲くタンポポやシロツメクサを摘んでは、ハンドワークB棟の玄関に飾り春を楽しんでいます。利用者のKさんは「これ食べられるよ」と教えられ、落ちていたどんぐりを一生懸命拾って自分のポケットに入れて持ち帰っていました。

就労では4月から内職のお仕事を始めました。蛍光ペンの組み立てです。1本のペンを完成させるまでにたくさんの工程があり、それぞれ皆の得手不得手を考えながら仕事を割り振り、時々役割をチェンジしながら取り組んでいます。最初は職員も手探り状態で失敗の連続でしたが、徐々に慣れてきたのか皆スムーズになってきました。単調な作業なので、すぐ飽きるかな？と思いきや、嫌がって作業を止める人はまだ一人もおら

ず、皆真剣な顔つきで集中して取り組んでいます。ところで、この内職の仕事を依頼してくれたいきっかけになったのが、就労で作っているおつまみだったそうです。作業で作っているおつまみの詰め合わせはいつも斎場に納品しているのですが、そのおつまみをご依頼者の目に留まり、ハンドワークに仕事を提供するまでに至ったとの事でした。日々の頑張りが実を結んだと実感できる出来事でした。



ありさ（就労継続支援B型）

春はこの街が賑わう季節です。近くにある八鶴湖には池をぐるりと囲むように桜が植えられていて、毎年そこでさくら祭りが開催されるからです。ありさでは、祭り期間に合わせて、日曜日にお店を臨時営業しました。

やはり、普段と違って街を歩く人が多く、お店を開いていると立ち寄ってお買い物をして下さる方が普段の何倍もいました。ありさのメンバーも、みんな一生懸命にビラ配りをしたり接客をしたりしていました。また、保護者の方もお店の手伝いや、お客様としてご協力いただきました。その甲斐もあって、普段以上の売上を上げることが出来ました。ご協力下さった保護者の方々、ありがとうございました。

そんな新年度開けてすぐの大忙しでしたが、頑張ったご褒美

にさくら祭りへ繰り出し、お花見をして楽しみました。桜も丁度見頃で、お天気も良く気持ちのいい日でした。みんなそれぞれお店で好きなものを買って、食べたり飲んだり遊んだりして満喫していました。

また来年もみんな力で力を合わせてがんばります
(^o^)



五根の家（グループホーム）

寒かった冬が過ぎ、待ちに待った春を迎えました。4月と言えば桜、花見の季節ですね。八鶴湖や雄蛇ヶ池、その他、桜が綺麗に咲いているところを見つけては、天気の良い日に何度もお花見外出をしました。まだ、蕾の頃の桜から、満開の桜まで、今年はずいぶん観ることが出来て、楽しみが長く続きました。最近では、Hさん、Aさんのお二人とスタッフ二人で近くにある「かつぱ寿司」まで外食に出掛けました。Hさんにとって、自宅で生活をしていた頃によく通っていた馴染みのお店でした。グループホームに入居された頃は何度か行っていましたが、しばらく遠ざかっており久しぶりの外食でした。始めはなかなか召し上がろうとしませんでしたが、お店の雰囲気慣れた頃から、Aさんが6皿十貫、Hさんも四貫召し上がり、ケー



キはお土産で持ち帰り、五根の家に戻られてすぐに召し上がられました。いつも以上に食欲を感じ、やはり気分を変えて、自分で好きな物を選んで食べられる機会も大事だと思いました。4月には、Mさんが体調を崩されて入院されており、誕生月でお祝いを予定していましたが延期となりました。スタッフ一同、一日も早い退院を願ひ、お誕生会は退院後の快気祝いを兼ねて行いたいと思ひます。

五根の家（小規模多機能ホーム）

木々もすっかり芽吹き、新緑の葉が茂る季節となりました。天気の良い日はお年寄りの方々と散歩に良くお出掛けし、畦道に咲く花や風の匂いで一緒に春を感じています(^ ^) お年寄りの方々とお出掛けすると、意外な発見や驚きを感じることがあります。私は春の味覚と聞かれると、真っ先に筍や春キャベツなど甘みや香りをたっぷりと含んだ野菜を思い浮かべます。先日、あるお年寄りの方と散歩をしていると、道沿いに生えていた『つくし』を採りはじめており、私が「部屋に飾るんですか？」と尋ねると、「何言ってるの、食べるんだよ！」と話され、つくしが食べられる事にびっくりしていると、大笑いされていました。昔は戦争で物が不足していたからつくしも御馳走であった事なども教えて頂きました。五根の家



に帰ってからつくしを食べられるように下処理の仕方から調理方法をたくさん先生の先生（お年寄り）から教えてもらい、実際に調理もされてつくしの佃煮や金平を頂きました。初めて食べたスタッフも数人いて、ほろ苦く、春の味といった印象でした。これからも、お年寄りと一緒に生活していく中で、自分が経験していない事を教わったり気付けたりする事を楽しみながらやっていきたいです。

「ころん」

青葉がまぶしい季節になりました。ころんは今年度も東金市の生活困窮者自立相談支援事業を継続することになりました。振り返ると当初は相談に来て下さる方のお話を伺い、「もう食べるものがないんです。」「所持金が200円です。」等その緊急性に驚きました。数日も持てないケースも多く、経済的でなく精神的にも余裕がない…：すぐになにか示せないし「ここに相談しても無駄だ」と諦めてしまいう危うさがありました。多分、精一杯踏ん張って相談に来られるのでしよう。だから長く前向きな気持ちを保ってられないのだという気がします。私たちころんの職員は、解決に向けての選択肢を示し説明をし、ご本人が決断するお手伝いをします。責任は重いですが、もったいない解決策があったのに提示できなかったと後悔しないよう、本

年度も慎重に、色々な方にアドバイスを頂きながら解決に向かおうと思います。昨年度つながった心強い仲間と共に今年度も頑張ります！5月15日からまたフードドライブが始まります。食料品のご寄付、本当に助かります。ご連絡をくだされば取りに伺います。お声掛けよろしくお願い致します。



いくりん

5月1日にオープンしました、企業主導型保育、まちな保育所いくりんです。0才〜就学前のお子さんを対象に、法人内6名、地域・一般6名の計12名をお預かりします。

いくりんのお部屋は思わず深呼吸したくなるほど木の香りが広がっています。外から見える、まるでどんぐりの様な照明にも笑顔がこぼれます。自然の木材を主としたおもちゃや保育室の中で豊かな感性を育みます。現在、0才〜3才の男の子4名、女の子3名の子ども達が元気に過ごしています。と言っても、最初はお母さんから離れるのを嫌がり、大泣きする事もしばしば…。そしてお母さんは思いつきり後髪を引かれる思いでお仕事へ…。それが今ではスタッフの顔も覚えスタッフの抱っこでも満足気な様子です。お客様が来た時はじっと顔を見つめ、

時には可愛い笑顔でもおてなしや両手を広げて抱っここの催促も出来るようになりました。お部屋では覚えてたの「パパ」や「ママ」の言葉が飛び交い、スタッフにおやつを分けてくれる優しさが見られたり、上手になったあんよで追いかけてっこを楽しんだり…。徐々にスタッフとの信頼関係も深まりつつあります。また、ほとんどのスタッフがお母さんであり、保育経験豊かな保育士です。時には、お父さんお母さんの事も優しく包みながら、子育て応援をしていきます。新緑のまぶしい季節、ピカピカの黄色いスクールバスに乗って公園デビューももうすぐです。出来立てほやほやのいくりんをどうぞよろしく願います。これからの心温まるエピソードに皆様も癒されてくださいね。



企画・イベント情報

ヨガサロン

健康管理、仲間づくりによりヨガを始めませんか？

旧道の岸本薬局の斜め向かいにある「ありさ」の2階で開催中。

開催日 6月7日(水)

6月21日(水)

※興味のある方はご連絡ください。

さい。

ありさ(50・0362)

子育てサロン

日時 6月19日(月)

午前10時半～12時

会場 鶴嶺の家(児童)

東金市東金425・2

内容 卒業後の進路・過ごし方

(講師:森さん)

※興味のある方はご連絡ください。

さい。

君島(50・1081)

お知らせ

福祉医療機構助成 内定

当法人は、平成29年度独立行政法人福祉医療機構助成金を受けられることになりました。事業名は「子どもの自立・自律と共生事業」。子どもの学習支援や居場所づくり・調査を行います。助成額は、700万円です。

法人事務局

「まちの保育所いくりん」を担当するスタッフを紹介いたします。



沼沢 千春
保育士



小澤 和子
管理者・保育士



丸 秀子
保育士



石田 美由紀
保育士



竹内 方子
保育士



鈴木 美知子
保育士



内田 智子
保育士

編集後記

段々と長袖を着ていると暑いと感じる日が多くなりましたね。花粉も大分少なくなり利用者さんたちも外へお出掛けするのが楽しみようです。肌の色が黒いと言われたので私はしっかり紫外線対策を頑張ろうと思います…。(W)

いよいよ、「まちの保育所いくりん」が始まりました。子どもに関わる事業は、これまでも実施してきていますが、保育所は法人としては初めて。身が引き締まる思いです。ぜひ、よろしくお願ひします。(Jerry)



ちばしゃ通信 (Vol.31)

発行日：2017年5月15日
発行元：ちば地域生活支援舎
編集責任者：宮下・太齋
連絡先：0475-53-3630